

第5回米沢市立学校適正規模・適正配置等検討委員会 議事録

日 時 平成30年3月20日(火) 10:00~11:00

場 所 置賜総合文化センター 教育委員室

出席者 1号委員 尾形 健明委員

2号委員 土屋 宏委員、岩倉 由美委員、山口 周治委員

3号委員 大町 竜哉委員、情野 彰浩委員

4号委員 涌井 且一委員、玄番 京子委員、安部 友二委員

米沢市教育委員会

教育長 大河原 真樹、教育管理部長 菅野 紀生、

教育総務課長 我妻 祐一、課長補佐 小田 浩昭、

副主幹兼施設主査 庄司 哲朗

教育指導部長 佐藤 哲、学校教育課長 山口 博、

課長補佐 片桐茂、課長補佐 木村 智子、

学校財務主査 笹原 恵、学事主査 佐藤 多恵子、

嘱託職員 鈴木愛子

(進行) 学校教育課長補佐 片桐 茂

(マスコミ) 米澤新聞社

資 料 次第、第4回米沢市立学校適正規模・適正配置等検討委員会議事録、
米沢市における小中一貫教育のあり方と米沢市立学校適正規模・適正配
置等基本計画について(答申)(案)

資料1 第4回検討委員会で出された意見のまとめ

資料2 平成29年度改定米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画(案)
に係るパブリック・コメントの結果について

議 事

- 1 学校教育課長補佐より、委員会成立宣言がされる。

この委員会は原則公開により、本日、米澤新聞社が出席していること
が報告される。

- 2 委員長 挨拶。
- 3 議長選出 委員長の尾形健明氏。
- 4 協議

(1) 第4回検討委員会の議事録の確認

教育指導部長 第4回検討委員会の議事録について、修正、訂正等あれ
ばお出しいただきたい。

委員長 何か訂正箇所はないか。

特になし。

(2) 事務局からの説明

米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画（案）に係るパブリック・コメントの結果について

教育指導部長 資料1「第4回検討委員会が出された意見のまとめ」について説明。パブリック・コメント用を作成するに当たり検討いただいた意見をまとめた。1月に議会で説明。2月1日から2月20日までパブリック・コメントを実施した。結果について、3月6日総務文教常任委員会、3月9日市政協議会で報告している。

資料2「平成29年度改定米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画（案）に係るパブリック・コメントの結果について」について説明。提出のあったとおりに記載している。このパブリック・コメントの結果については1年間ホームページに掲載される。

委員長 質問、説明に対する意見等ないか。具体的にどうなるのかということが心配なのだと思う。実際にスクールバスについても具体的なことが知りたいのと思う。保護者の送迎は考えているのか。

教育指導部長 体調の悪い等の時は、保護者の送迎もあると思うが、基本的には考えていない。二中と南原中の統合準備委員会でも、部活動のことを考えると自転車で通わせたいという声もある。夏期は自転車通学、冬期はスクールバス利用、または、通年スクールバス利用が考えられ、登録制にしてロスのないようにしたい。

委員長 高校生は保護者が送迎していたりするが、中学生はだめなのか。

教育指導部長 基本的には集合して、スクールバスでの登校になる。

委員 資料の見方について、修正の有無の欄はどう見るのか。

教育指導部長 計画の修正の有無についてである。

(3) 協議

答申（案）について

教育指導部長 米沢市における小中一貫教育のあり方と米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画について（答申）（案）については、今までの協議で出されたご意見をまとめ委員長と協議しながら作成した。小中

一貫教育を取り入れ、米沢らしい計画と考えて作成した。ご意見をいただきたい。

委員長 ここで議論いただいて、最終的に答申することになる。形式として、最初に結論を書いて、そのあとに理由を書くスタイルにした。私としては、キャッチフレーズを入れたかったが、全国のやり方を踏襲した。米沢らしさが出ていないのではないかという反省点もある。ただ、「学園都市」という基本計画があるので、皆さんに協議いただきたい。

委員 少子化が急速に進んで、計画の推進について、話し合いを重ねた上で、大幅な計画の見直しが必要になった。20年後に着手すればよいと思われぬよう、「スピード感を意識した」というところを強調して「強く推し進めてほしい」ということを、打ち出してほしい。

委員長 答申となったとき、修正する時にはどうなるのか。

教育指導部長 他に修正箇所が出てくるのか、修正の仕方によって変わってくる。

委員 「20年後ですよね。」と、よく言われる。順次できることから、早く進めるということが伝わるようにした方が分かりやすいと思う。

委員長 タイムスケジュールがあれば、もっとわかりやすいと思う。

教育指導部長 小学校については、H30年度から統合について具体的に市民の皆さんに説明を始める。南西中学校（仮称）については、H37年度開校という目標があるが、東中（仮称）・北中（仮称）の統合については、費用や時間も必要となるので、来年度以降、随時情報提供をしながら計画を進めていきたい。

委員 私の仕事の関係で補助金の申請をするとき、県でも、国でも、具体的に詳しく示さないといけない。この答申を、市民の評価を意識して読んでみると、今までの話し合いでは、もっと具体的に踏み込んだ話し合いをしていたはずだと思う。この答申を読んだだけで市民がわかるようにした方がよいと思う。中高一貫校についても、話し合いで触れられたはずだが、記載がない。

学校教育課長補佐 タイムスケジュールについて、詳細に示されないこ

とをもどかしく思われていることと申し訳なく思う。他の自治体で、行政が先行して上手くいかなかったという例が多い。具体的な校名、時期を入れていくと反対の意見が大きくなり上手くいかなることがある。進めるうえで、具体的なことはなるべく入れない方が上手くいくようだ。浅川分校、南原中の例で言えば、「行政ちょっと遅いよね。地域が協力しないと行政は動かないんだ。」という意見が多くある方が上手くいくようだ。その方が、地域との話し合いを進めるうえで、協力が得られるようだ。

委員 事務局の意見に賛成である。行政主導だと上手くいかない例が多い。地域の子どもたちのために、地域が一番に何をすべきか、ということ投げかけて、地域の思いを受け止めて進めていくべきだろうと思う。一定程度大きな枠で示しながら、事務局で、一生懸命地域に足を運んで、地域の思いを掘り起こしながら一定の方向に進んでいくということが大切だと思う。小学校を8校にすると打ち出せたことは、米沢市の成り立ちからなかなか難しいことで、すばらしいと思う。

教育指導部長 中高一貫教育について、協議がなされたらと修正する。高校再編を絡めて、高校の方にも動きがあるので、注視していく。年限についても、20年を待っているのではないということを地域での説明会で、丁寧に説明していきたい。適正規模の効果を説明し、子どもたちにより良い教育を受けさせることをアピールしていきたい。

委員 「はじめに」のところ5行目「計画中断～」のところに、中断の一因に、「少子化」があったことを入れてみてはどうか。

教育指導部長 中断の一番の理由は、国の小中一貫の動きだったが、その間、想定以上の少子化の進みがあった。もう少し、少子化の急激な進行というところを強調と思う。

委員 南原地区では、子どもたちの教育のためにH32年度の南地区中開校に向けて、進んでいたが、国の小中一貫教育の動きで計画を中断した。小中一貫教育については、施設分離型の小中一貫教育を進めるということだが、今後、小中一貫校の話が出てくるのではないかと心配だ。施設分離型でも連携等うまくやる方法を考えていかなければならないと思う。

教育指導部長 中学校については、少子化や校舎の老朽化等により、最

初に進めなければならないが、20年の期間でいくと、ますます少子化が進み何十年か後には、小中一貫校というかたちになっていくこともあるかと思う。教育の内容については、小学校をグループ化できたことで、中学校との連携が進めやすくなると思う。

学校教育課長 六中校区の、広幡小、塩井小、六郷小、窪田小の4校で、外国語について六中の英語科と、連携を進めている。

教育指導部長 南西地区であれば、南原小と南部小の交流等、小学校間の連携、小学校と中学校の連携が進めやすくなる。

委員 パブリック・コメントの結果（P7 No.29）の意見にもあるが、20年という長いスパンのため、誰のための計画なのかと考えると、計画に対する無関心を生んでいるのではないかと思う。20年という数字に不安を感じる。

教育指導部長 市内、中学校区で開催した説明会は、保育園、幼稚園を通じて案内をした。H30年度以降の地域説明会は、若い世代に向けての説明会も開催したい。南原地区代表者協議会でも、保護者の意見を聞くべきだという意見をいただいて進めてきた。今後も、若い世代の声をいかしていきたいということを説明会で話していきたい。

委員長 実際は、地域全体が関わってくることなので、米沢市民全員を対象者として考えてよいと思う。

教育指導部長 10年後には複式学級を解消するとすれば、議論が活発になると思うが、どのような提示の仕方がよいのか加減が難しいところではある。計画を成し遂げるには、長い期間を要すると思うので20年とした。

委員長 やむを得ないのではないか。数字を設定するのは難しいことで、目標として、20年としておく。
修正が必要となるので、事務局と協議をし、後日答申となるのか。

教育指導部長 訂正した後に、委員長に確認していただき、委員長より答申とさせていただきたい。

(4) 来年度の持ち方について

教育指導部長 委員の任期を2年としているので、引き続きお願いしたい。来年度は、3回の検討委員会を予定している。計画の進捗について意見をいただきたい。

(5) その他 なし。

委員長と事務局で答申を修正し、皆さんに確認をお願いしたい。

5 その他

教育長よりお礼を申し上げる。

6 閉会